



2010年3月1日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 野木森 雅郁  
コード番号 4503  
(URL <http://www.astellas.com/jp>)  
東 証 ・ 大 証 ( 各 第 一 部 )  
決 算 期 3月  
問 合 せ 先 広報部長 河村 真  
Tel : ( 0 3 ) 3 2 4 4 - 3 2 0 1

## 米国医薬品会社 OSI Pharmaceuticals 社に対する株式公開買付けの開始に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：野木森 雅郁）は、本日、取締役会において、米国の医薬品会社である OSI Pharmaceuticals, Inc.（本社：米国ニューヨーク州メルビル、以下「OSI Pharmaceuticals 社」）に対して、当社の米国持株子会社アステラス US ホールディング Inc.（本社：イリノイ州ディアフィールド）の 100%子会社 Ruby Acquisition, Inc.（以下「公開買付者」）が現金による株式公開買付け（以下「本公開買付け」）を行うことを決議いたしましたので、お知らせします。

### 1. 公開買付けの目的等

#### (1) 公開買付けの目的、及び公開買付けの開始に至る経緯等

当社は、VISION2015 に掲げるグローバル・カテゴリー・リーダーの実現を目指し、がん領域を重点疾患領域に位置づけ、早期の事業基盤確立に向けた取り組みを積極的に進めています。そのために、自社の研究開発力の一層の強化とともに、アライアンス活動を通じてパイプラインの充実を図っています。本公開買付けは、このような当社の取り組みの一環として重要な投資であると考えています。

OSI Pharmaceuticals 社は、がん及び糖尿病／肥満の領域において分子標的薬の創製、開発、商業化にフォーカスしている医薬品企業です。OSI Pharmaceuticals 社は、同社が創製した世界でも有数のがん治療剤 Tarceva<sup>®</sup>の製造・販売を通じてがん領域における米国事業基盤を既に構築しているとともに、同領域において複数の新薬候補化合物を開発パイプラインに有しています。

当社は、本公開買付けにより OSI Pharmaceuticals 社を買収することで、米国においてトップクラスのがん領域事業を早期に立ち上げることができるほか、当社の製品ポートフォリオ及び開発パイプラインをさらに拡充することができます。このように当社の中・長期的な成長に加えて早い時期からの業績への貢献も期待でき、当社の株主にとっての価値向上に寄与するものと考えています。なお、OSI Pharmaceuticals 社の直近 2009 年 12 月期の業績は、売上高 428 百万ドル、純利益 76 百万ドルとなっています。

本公開買付けは、OSI Pharmaceuticals 社が発行済みの全ての普通株式を1株あたり52ドルの現金を対価として取得するものです。これは、OSI Pharmaceuticals 社株式の2010年2月26日の終値(37.02ドル/株)に対して40%、同日までの直近3ヶ月の終値の平均値(34.01ドル/株)に対して53%、また直近1年間の最高値(39.66ドル/株)に対して31%のプレミアムを加えた価格となり、発行済株式に対する総額は約35億ドルとなります。OSI Pharmaceuticals 社の株主にとって当社の提案は、現時点でOSI Pharmaceuticals 社が創出する価値ならびに将来の見込みの双方を評価したものであると考えています。

当社の企業規模と強い財務基盤は、OSI Pharmaceuticals 社の既存の製品パイプラインの価値の実現に寄与するとともに、同社の創薬研究において必要な資金の継続的な確保へも貢献します。また、当社の新薬の開発・販売における豊富な実績と強固な事業基盤が加わることで、OSI Pharmaceuticals 社における開発の一層のスピードアップと商業ベースでの成功をより確実なものにすることができます。

当社は戦略的な事業統合を成功裡に遂行してきた実績を有しています。当社はOSI Pharmaceuticals 社の組織体制を最大限に尊重したうえ、過去の同様の戦略的な買収においても実施してきたように、OSI Pharmaceuticals 社の強みを有する事業と従業員を、当社の事業に統合することを考えています。

当社は、今日に至るまで13か月間にわたり、OSI Pharmaceuticals 社の買収について同社との実質的な協議を行うための努力を続けてきました。2009年1月のOSI Pharmaceuticals 社CEOとの面談の際に、初めて同社の買収に興味がある旨を伝え、同年2月には書面による提案を行いました。その後、幾度にもわたり書簡や直接の会談を通じて当社の買収の意思をOSI Pharmaceuticals 社に伝えてきましたが、OSI Pharmaceuticals 社は実質的な協議に応じることなく拒否し続けてきました。当社は、去る2010年2月12日の両社CEOによる直接の会談においてOSI Pharmaceuticals 社に買収提案を改めて行いましたが、当社の提案はOSI Pharmaceuticals 社の価値を極めて低く評価しているとして、当社と実質的な協議を行う意思がない旨の書面による回答をOSI Pharmaceuticals 社のCEOより受領しました。

以上の状況から、当社としては本日、取締役会において本公開買付けを開始することを決議し、OSI Pharmaceuticals 社の株主に直接働きかけることといたしました。なお、当社は本公開買付けの開始に加えて、OSI Pharmaceuticals 社の2010年定時株主総会において、当社による買収の成否についてOSI Pharmaceuticals 社の株主の意見を反映できるよう、取締役を選任するための株主提案の検討を含め、本公開買付けを成功裡に遂行するためのあらゆる手段を講じていく考えです。

## (2)公開買付者と対象会社の株主との間における公開買付けへの対応に係る重要な合意に関する事項

該当すべきものはありません。

## 2.本公開買付けの概要

### (1)買付期間(予定)

米国東部時間 2010 年 3 月 2 日から 2010 年 3 月 31 日

(2)買付けを行う株券等の種類

普通株式

(3)買付価格

1 株あたり 52 ドル

注) 当社は、買付価格を決定するにあたり、第三者の専門家からの助言などを参考としています。

(4)買付けに要する資金

約 35 億ドル (予定)

注) OSI Pharmaceuticals 社発行済株式総数 (完全希薄化後ベース) に上記(3)の 1 株あたり買付価格を乗じた金額を記載しています。

(5)買付けの条件

本公開買付けは、①当社保有分 (間接保有分含む。以下同じ) と併せて、OSI Pharmaceuticals 社発行済株式総数の 50%超 (完全希薄化後ベース) となる株式が応募されること、②OSI Pharmaceuticals 社の取締役会がそのライツプランを消却する (あるいは、かかるライツプランが無効又は本公開買付け及びその後予定している公開買付者と OSI Pharmaceuticals 社との合併若しくは類似する事業結合 (以下「本件取引」と総称する) に適用がないと公開買付者がその合理的な裁量により判断する) こと、③デラウェア州一般会社法 203 条に規定される利害関係株主 (interested stockholder) との事業結合に対する制約が本件取引に適用されないものとなるよう、OSI Pharmaceuticals 社の取締役会が、本件取引を承認する (あるいは、かかる制約が本件取引に適用されないと公開買付者がその合理的な裁量により判断する) こと、④OSI Pharmaceuticals 社が Tarceva に係る権利又は資産の譲渡、ライセンスその他一切の処分 (直接・間接を問わない) 又はその合意 (本日までに米国証券取引委員会 (SEC) に提出され本日現在有効な契約に基づき必要な限度で行われるものを除く) を行わないこと、及び⑤米国独占禁止法による待機期間の終了又は早期の解消、その他同種の取引に通常規定される各種条件を満たすこと、を前提に行われることとなります。

3.下限応募株式数

公開買付者は、当社保有分と併せて OSI Pharmaceuticals 社発行済株式総数の 50%超 (完全希薄化後ベース) となる株式の応募があった場合に本公開買付けを行います。

4.本公開買付けによる当社保有の OSI Pharmaceuticals 社株式数の異動

本公開買付け前保有株式割合 0.1%未満

本公開買付け後保有株式割合 100%(\* )

\* 本公開買付けにより、OSI Pharmaceuticals 社株式の 100%を買付けることができた場合

## 5.対象会社の概要

①名 称	OSI Pharmaceuticals, Inc. (Nasdaq : OSIP)
②所 在 地	米国ニューヨーク州メルビル
③代表者の役職・氏名	CEO Colin Goddard, Ph.D.
④事業内容	がん、糖尿病/肥満領域における医薬品の研究開発、販売
⑤資 本 金 (Stockholders' equity)	711 百万ドル (2009 年 12 月末)
⑥設 立 年	1984 年
⑦発行済株式総数	58,309,364 株 (2010 年 2 月 15 日時点)
⑧上場会社と対象会社の関係	
資本関係	当社グループ会社が 0.1%未満の株式を保有しています。
人的関係	当社と対象会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と対象会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
関係当事者への該当状況	対象会社は当社の関係当事者には該当しません。

## ⑨最近事業年度の業績

(単位：百万ドル)

	2007 年 12 月期	2008 年 12 月期	2009 年 12 月期
売上高	341	379	428
純利益	60	441	76
総資産	558	1,104	1,185
純資産	138	598	711

注) OSI Pharmaceuticals 社が米国取引委員会 (SEC) に提出した Form 10-K から引用。

## 6.今後の見通し

本公開買付けが成立した場合の当社の連結業績に与える影響については、本公開買付け終了後、改めてお知らせいたします。

## 7.財務及び法務アドバイザーについて

当社の財務アドバイザーは Citigroup、法務アドバイザーは Morrison & Foerster LLP です。

本公開買付けに関する詳細情報については、米国証券取引委員会（SEC）のウェブサイト（<http://www.sec.gov>）に掲載される予定です。

添付資料は、2010年3月1日付けで当社が OSI Pharmaceuticals 社 CEO Colin Goddard 氏宛に送付したレターの要約です。

以上

ご注意：この文書は、当社の間接子会社である公開買付者による OSI Pharmaceuticals 社に対する公開買付けに関して一般に公表するためのプレスリリースであり、OSI Pharmaceuticals 社株式を保有している投資家に対する売付け等の申込みの勧誘又は買付け等の申込みを目的として作成されたものではありません。この文書に記載された将来の見通しについて、実際の結果は多くの要因の影響により大きく異なる可能性があります。

[添付資料]

2010年3月1日付けで当社が OSI Pharmaceuticals 社  
CEO Colin Goddard 氏宛に送付したレターの要約

- 当社は、当社による OSI Pharmaceuticals 社の買収が両社にとって大きな利益を生み出すことができると考えています。すなわち、統合後の会社は、がん領域においてアンメットニーズを抱える患者のために新薬を創製し、開発し、提供していくという両社の目標に対して、それぞれが単独で実現しうるよりもはるかに高い成果を達成できると確信しています。
- 当社はこれまで両社の事業を統合する可能性について 13 か月間にわたり貴社と有意義な協議をするために最大限の努力を払ってきました。そして、当社は 2010 年 2 月 12 日に貴社と会談した際に改めて、貴社の全株式を前日の終値に対して約 50% のプレミアムを加えた 1 株あたり 52 ドルで取得する提案をいたしました。
- 当社は、2 月 12 日の貴社との会談が、貴社の取締役会において当社からの買収提案ならびに貴社の株主に対する価値還元に関する前向きな協議の契機となることを期待していました。しかしながら、2 月 22 日付け貴社からの書面による回答では、当社の提案が OSI Pharmaceuticals 社の価値を極めて低く評価しているとの主張とともに、2 年間の standstill 条項を含む秘密保持契約が提案されました。それは当社が貴社の株主に対して直接提案することを制限するものであり、当社は貴社株主の最善の利益にはならないものと考えています。
- 2 月 12 日の会談ならびにこれまでの話し合いの中で述べている通り、当社は当社による OSI Pharmaceuticals 社の買収が魅力的な提案であり、両社の株主、従業員、顧客に稀有な機会を提供するものと確信しています。しかしながら、貴社が当社との実質的な協議を行う意思がないことから、当社は貴社の株主に直接働きかけるため当社の取締役会の承認にもとづき貴社株式の公開買付けを行うこととしました。
- 当社は、OSI Pharmaceuticals 社の既存製品の価値を実現し、貴社パイプラインにある製品の開発及び商業ベースでの成功を確実なものとするために、貴社買収の可能性を引続き追求していきたいと考えています。当社はまた、OSI Pharmaceuticals 社の組織体制を最大限に尊重したうえ、過去の同様の戦略的な買収においても実施してきたように、OSI Pharmaceuticals 社の強みを有する事業と従業員を当社の事業に統合するつもりです。
- 当社は、協議による両社の統合の可能性を引続き追求していく考えです。貴社が当社の提案を再考し、両社にとって有益な結論を導くために共に取り組んでくださることを望んでいます。

以上